

## 経済産業大臣賞（優秀賞）

「水への思い」

千葉県 八千代松陰中学校 二年 小田 優海

「水に感謝して大切にしなければいけない。」

私が幼少の頃から、祖父に教えられてきた言葉です。

私の祖父は、およそ四十年、水処理の仕事にたずさわってきました。セールス・エンジニアとして働き、いろいろな工場などの現場に向き様々な水処理、水質管理の仕事をしてきました。祖父から聞いた体験談は、とても興味深く「水」の奥深さを感じます。

「水」は、いろいろな場所や工場に使用されます。時に製造用水として食品や飲料、また医薬品などに使用されていて、私の想像以上の大量の水が消費されてきました。半導体工場などで使用される洗浄用水もあります。これらの用水は、厳重な水質管理が必要です。祖父はよく、「現場で上手くいかない時もあるけど、徹夜で作業したこともあったけど、振り返ると楽しい経験だった。」

と、笑顔で話していました。私は、そんな祖父が誇らしく見えました。私は、全てと言っている程に、製造には水が不可欠だと思えます。そして、その業態に合わせ、それぞれの用水が必要な事。スーパーに並んでいる商品を安心して口にできるのは、徹底した衛生や品質管理そして、きちんと安全に処理された製造用水のおかげだと思います。また日本は、製造業が盛んな国。そこでも製造用水が重要なのです。何より、世界に誇れる半導体技術にも洗浄用水が重要な役割をしています。きちんと厳重な水質管理をする事ができる水処理技術のおかげでもあると言っているのではないのでしょうか。

日本の水は安心とよく耳にします。それは、日本の水の処理、浄水技術のクオリティが高いからだと思えます。きっと祖父の世代の人達が、それぞれの技術を確立していき日本の産業を盛んにしたのだと思えます。そして祖父は言います。

「水は、限りのある資源。日本の気候や地形、何より天からの恵みの雨。」

それに感謝しなければいけない。」

水の事にたずさわると、水を大切に思う祖父の心からの言葉だとわかります。世界では、雨が降らず水不足で危機的状況にある国、水の処理や浄水技術がまだ発展せず衛生問題を抱えている国があり、日本の企業なども応援しているようですが、まだまだの現状です。

日本は、とても恵まれた国です。生きていく上で欠かせない水。その「水」が、常に安全で安心して口にすることができているのですから。確かに祖父の言うように、日本の気候や地形、天からの恵みの雨にももちろん感謝していますが、安全で安心な水にするために、たくさんの方々の技術を持って働いている人達、その人達の思いによって安心かつ衛生的に過ごすことができている人達。水にたずさわると、皆さんの思いを考えると、「大切な水」。決して水をムダに使うことなどできないのです。

私達が豊かに生活できるのは、日本が水に恵まれ、水の処理技術により、衛生的な国だからです。そして厳重な水質管理によって、日本の産業も発展しました。今の時代を築いてくれた祖父の世代の人たちにも感謝をしたいと思えます。これから、私達も地球や自然に優しいeco生活をし、限りある資源と常に意識し、受け継いだ安全を大切に向上していくよう努めなければならないと思えます。